



火災警報器が作動!

状況を確認する

火災警報器が鳴っている付近で、実際に火災が起きているか、すぐに確認します。
(十分に注意して確認してください)
☆警報に気付いたら、高齢者や子どもはその時点で避難しましょう。

火災警報器を取り付けただけでは、防火対策は万全ではありません。
実際に火災警報器が鳴ったときに、どう動けば良いか日頃から決めておきましょう。

もしも火災が起きたら...

119番通報

周囲に大声で火事であることを伝え、119番通報を行います。
発見が早く、火が天井に付いていなければ、初期消火を行います。
☆初期消火が難しい場合は避難を優先しましょう。

正しい119番通報の仕方

- ①「火災」が起きていることを正しく伝えましょう。
- ②「どこで」火災が起きているかを伝えましょう。
☆住所を落ち着いて伝え、目標となる建物などが分かる場合は伝えましょう。
- ③「何が燃えているか」を詳しく伝えましょう。
☆できるだけ詳しく、けが人などがいる場合は伝えましょう。

危険と判断したら避難を

消火が危険な場合は避難をします。
アパートなどの上階にいる場合は、途中で止まる恐れがあるため、エレベーターは使わず、階段などで下へ避難しましょう。
また、逃げる時は固く絞ったタオルで鼻と口を覆い、姿勢を低くして避難しましょう。
☆日頃から2方向以上の避難経路を確認しましょう。

初期消火

消火が可能と判断したら、初期消火を行います。
家庭用消火器や風呂の残り湯、水でぬらした布などを使って消火しましょう。
☆消火中に天井に火が届くようになってきたら、消火が難しくなりますので、すぐに避難しましょう。

初期消火・避難の目安

火災が発生した時、初期消火を行うか、避難を優先するかの判断をすぐにしなくてはなりません。

☆初期消火が可能かどうかの目安

天井に火が付いたら避難を!(火が付いてから約2分30秒後)

何かに火が付いた状況から2分前後で平面の火種が壁などに移ります。燃え広がっていく初期であれば、適切な消火によって消すことができます。



119フェスタ 2013 ～集まれみんなの消防ひろば～

八代消防署では秋の全国火災予防運動の一環として、「119フェスタ 2013」を開催します。はしご車の搭乗体験や消防車からの放水体験、煙の中を歩く濃煙体験など楽しいコーナーのほか、ひので保育園幼年消防クラブとみずほ幼年消防クラブの演技披露、消防音楽隊の演奏披露を予定していますので、ぜひご来場ください。

- ◆日時 11月2日(土) 10時～12時
- ◆場所 八代消防署(八代市大村町970番地)
- ◆駐車場 ケーズデンキ八代店2階駐車場



火災の発生を早急に知る 火災警報器

火災警報器は、火災により発生する煙を感知し、音や音声で火災の発生を知らせる機器です。

平成23年6月から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されました。

火災で亡くなった人の中には、火災に早く気付くことで防げたケースがあります。
まだ設置されていない人はすぐに設置しましょう。



◆住宅用火災警報器の種類

- ①煙式(光電式)
煙が機器に入ると音や音声で火災の発生を知らせます。
- ②熱式(定温式)

機器の周辺温度が一定の温度に達すると音や音声で火災の発生を知らせます。
※火災を感知した機器だけではなく、連動した全ての機器が警報を発する「連動型」の物や高齢者、目や耳の不自由な人のために、音や光で知らせる「補助警報装置」もあります。

◆定期的なお手入れを

火災警報器を設置していたとしても、いざというときに作動しなければ意味がありません。普段から定期的なお手入れをしておきましょう。

- ①電池切れに注意
電池が切れると機器は作動しません。定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認をしましょう。
- ②掃除しましょう
機器にホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。定期的に掃除しましょう。
- ③寿命が来たら交換を
機器のセンサーなどには寿命がありますので、10年を目安に交換しましょう。

防火診断チェック表

火災に備えて出来ることをまとめました、該当する所にチェックをしてみましょう。

◆キッチンの調理器具周り

- 安全調理器具(※1)を使っていますか?
- ガスホースが老朽化していませんか?
- 使用していないガス栓にキャップをしていますか?
- コンロは壁から離して置いていますか?
- コンロのまわりに可燃物はありませんか?
- コンロのそばを離れる時は、必ず火を消していますか?

◆たばこについて

- 家族の中で寝たばこをする人がいますか?
- 灰皿の吸い殻はまめに捨てていますか?
- 灰皿にたばこを置いたままにいませんか?

◆放火を防ぐために

- 家の周りに古新聞など燃えやすい物を置いていませんか?
- 住居の敷地内に誰でも簡単に入れるようになっていませんか?

◆電気器具や配線について

- 破損・故障している器具を使用していませんか?
- アイロンやドライヤーの使用後はプラグを抜いていますか?
- コードが切れかけたり、差込口が破損したりしているような電気器具を使用していませんか?
- 時々プラグを確認して清掃していますか?
- 素人配線、たこ足配線をしていませんか?

◆暖房器具について

- 破損・故障している器具を使用していませんか?
- ストーブは火を消してから給油していますか?
- 暖房器具の上に洗濯物を干していたり、周囲に燃えるような物を置いていませんか?
- ストーブをつけたまま寝ていませんか?
- 安全暖房器具(※2)を使用していますか?

◆風呂・給湯器など

- 破損・故障している器具を使用していませんか?
- 安全装置は付いていますか?
- かまどの場合、周辺に燃えるものを置いたりしていませんか?

◆子どもなどの火の取り扱い

- 子どもの手の届く所にマッチやライターを置いていませんか?
- 子どもだけで花火をさせていませんか?
- マッチなどの燃えくずをきちんと片づけていますか?
- たき火などの時にバケツに水をくんでおくなどの消火の用意はしていますか?

◆家庭での防火への備え

- 避難経路を整理整頓して確保していますか?
- 火が接しても燃え広がらない衣類や寝具を使っていますか?
- 住宅用消火器などを備え、使用できますか?
- 火災警報器を設置していますか?
- 地区館などで実施される防災訓練に参加していますか?

※1 調理中に火が消えてしまった場合にガスの供給が自動的に止まるなどの安全対策がとられているもの
※2 転倒した場合に自動停止する装置が備えられたもの